

経営比較分析表（令和4年度決算）

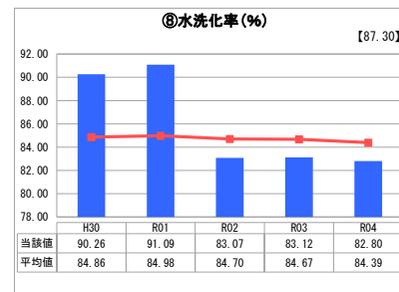
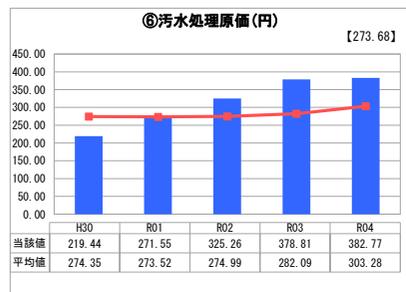
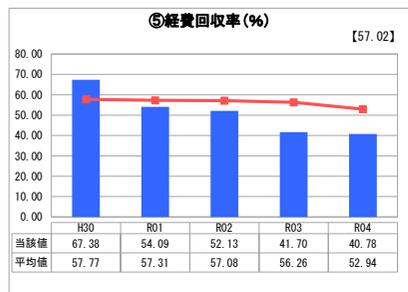
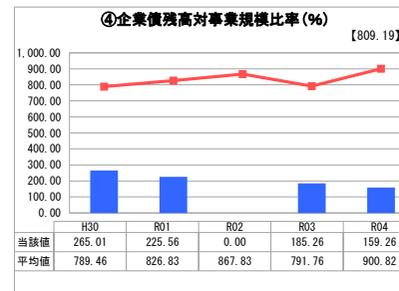
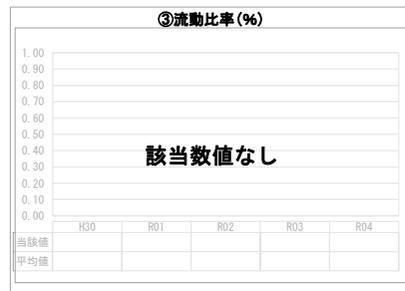
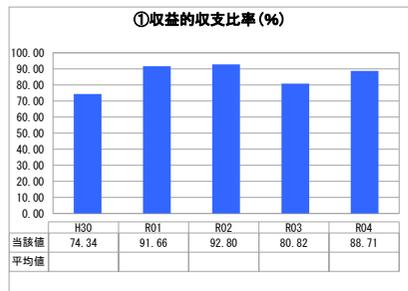
香川県 三木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.96	87.05	2,731

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,310	75.78	360.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
535	0.45	1,188.89

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

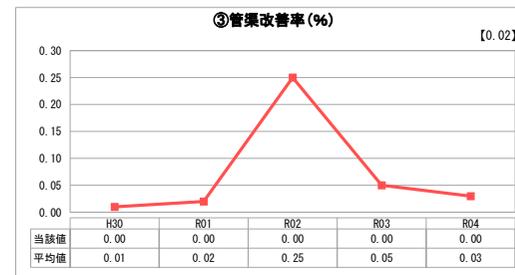
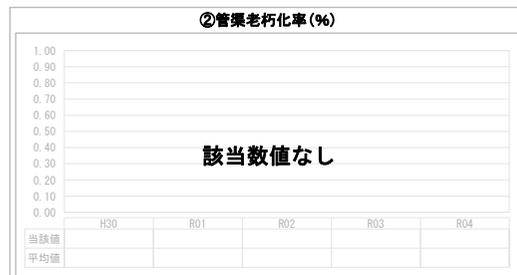
1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、施設の修繕料、委託料や電気料金など施設運営に必要な経費削減が難しく100%に届かない状況が続いています。⑤経費回収率、⑥汚水処理原価も同様の理由により、類似団体に比べ、数値が悪い状況が続いています。④下水道使用料に対する企業債残高（一般会計負担相当分を除く）の割合を表すものです。建設改良に伴う企業債償還に対する資金の全部を一般会計において負担していますが、公営企業会計移行債については下水道事業会計にて負担しているため、今後も一般会計の負担減少は見込めません。⑦人口の減少・高齢化に伴い、接続率に伸び悩んだ状況が続いています。⑧令和元年度までは類似団体より高い数値でしたが、死亡や転出等による人口減少により水洗化率の増加は難しい状況です。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20年近くが経過していますが、耐用年数を超えている管渠はなく、現時点で必要な改築等はありません。しかし、処理施設の機械・電気設備で耐用年数を迎えるなどから、昨年度に比べ修繕費用が増加しました。今後も、令和2年度に策定した最速整備構想を活用して、更新費用の抑制および平準化を図りながら必要更新を行っていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

接続率向上に努めています。人口の自然減に伴う下水道使用料の伸び悩みに加え、施設の老朽化対策に伴う費用の増加、企業債残高の水準も高いことにより、経営改善が難しい状況です。また、汚水処理に係る経費（コスト）を賄えておらず、使用料以外の収入（一般会計繰入金）に依存しています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。